雅彦卿貞和
[illegible]生
[illegible]
[illegible]

彦
右
衛
門
か
ま
ち
光二編上

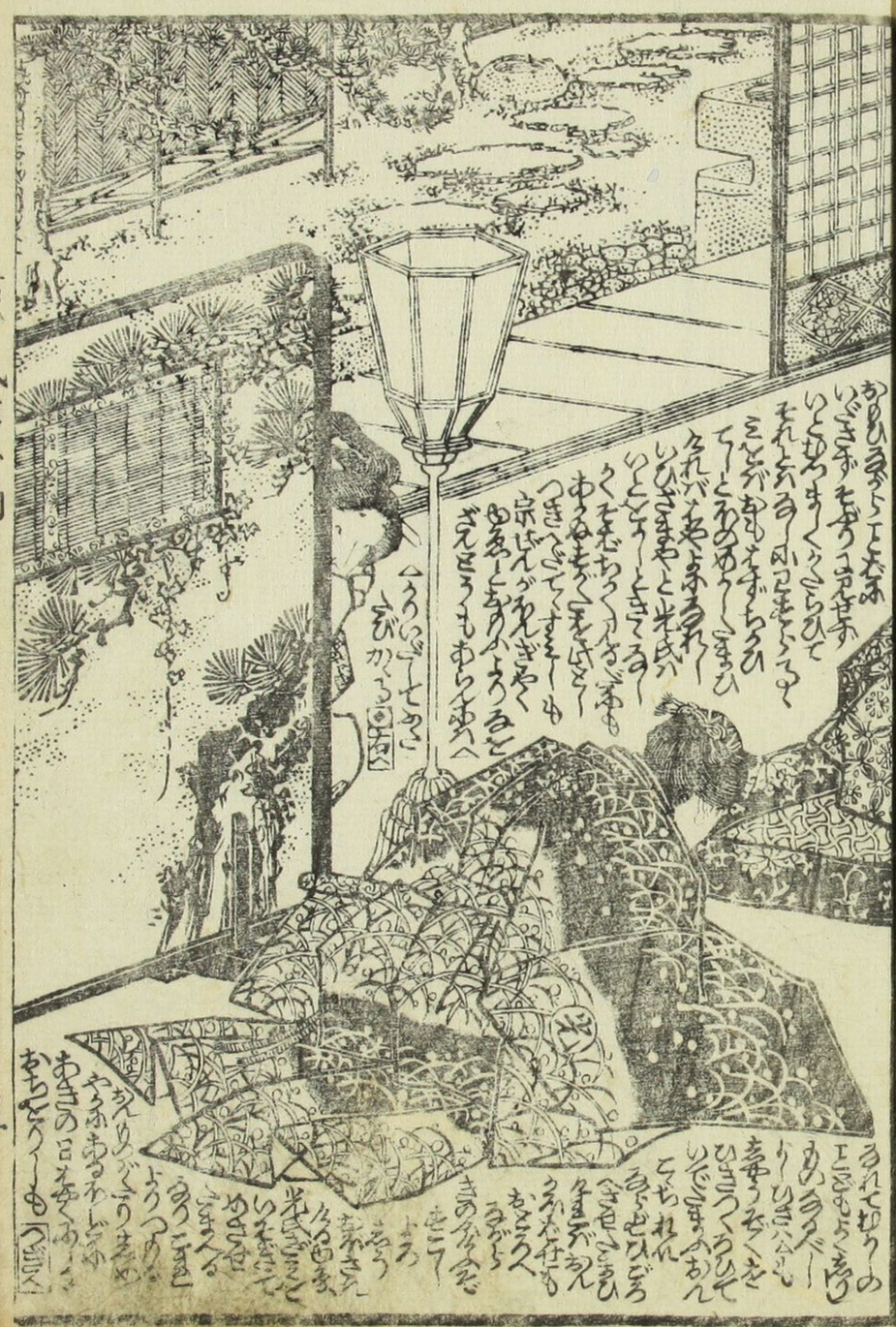
九二番　上の巻

地神堂　松よそう画
種彦作
國貞画
仙窟堂　壽梓

早稲田大学図書館

御子孫方ゝ告奉る侍ゝ紫でハ稲舟姫。本紫でハ常陸乃宮の。姫君の荒ゝる宮ゝ。おもゝ〜ゆゑ〜事と綴り。蓬生の巻ハ源氏の須磨へ下りゆゑ〜頃ゝ。姫君の落居の事までと書載て。前後ゝ物語なり。近く聞ハ忠臣蔵の。七段目ゝ平右衛門が。細作ゝ説んとて主人の國へ飛脚ゝ行ゝ。家没落ゝ。なきて非人となり。師直と孫ゝ〜ど討得ぜ古郷へ凱旋ゝ加りて。本望と遂早ゝ。行事までと記しなば。三段目の茶ゝ。十一段目の後ゝ。横の並あり。蓬生もそれゝ同〜。故ゝ明石の次ゝ操あげ。僅ゝ大武の北の方。のゝ。ゝ冷泉のゝ。ゝ加ゝ。ゝ元ゝ。ゝ大詰のゝ。ゝ敵ゝ用心嚴しく。てと。又五段目の前の事をゝ。ゝ出もゝ。ゝ一カ屋ゝ。ゝ唯ゝ。ゝ文章。ゝ。ゝ。ゝ

源氏十二編
思ひどもるどくうるめく
ひのくまをも秋をうぐりよ
さくさくどもうまくまくー
これまうり世代海山よ
約めぐり三毛浪に
うきたぐむ舟を
京式七二冊



東都赤本園字函校摺

俳諧芳野集 全三冊 開板

俳諧歌案集 全二冊 開板 遅刻

俳諧今四歌仙 全一冊 開板 掛軸 赤本 相白 小園 四方人の作なれども俳諧当時の流行あるべきなるの趣なり

東都赤本園字函校摺

俳諧今人俳合集 全四冊 開板

俳諧今人歌白集 全二冊 未酉年早春出板

書肆

江戸通油町

仙鶴堂 鶴屋喜右衛門蔵

光二編下

種彦作
貞画

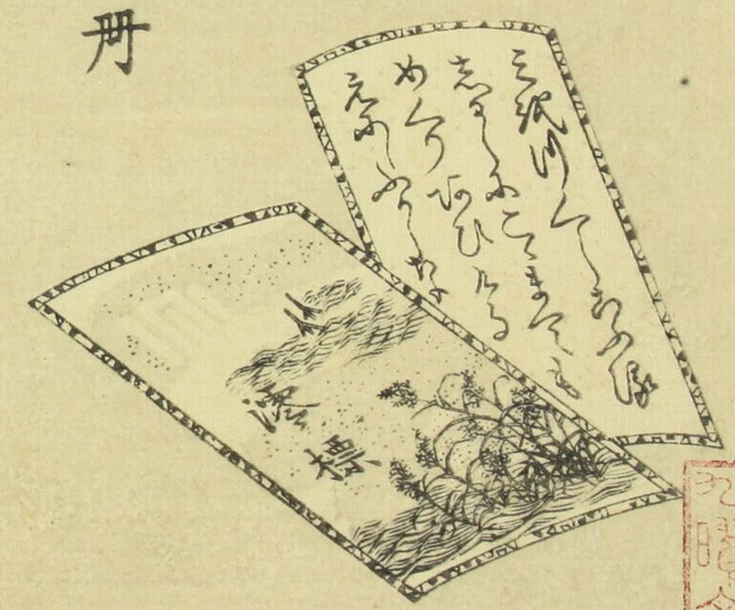
種彦作

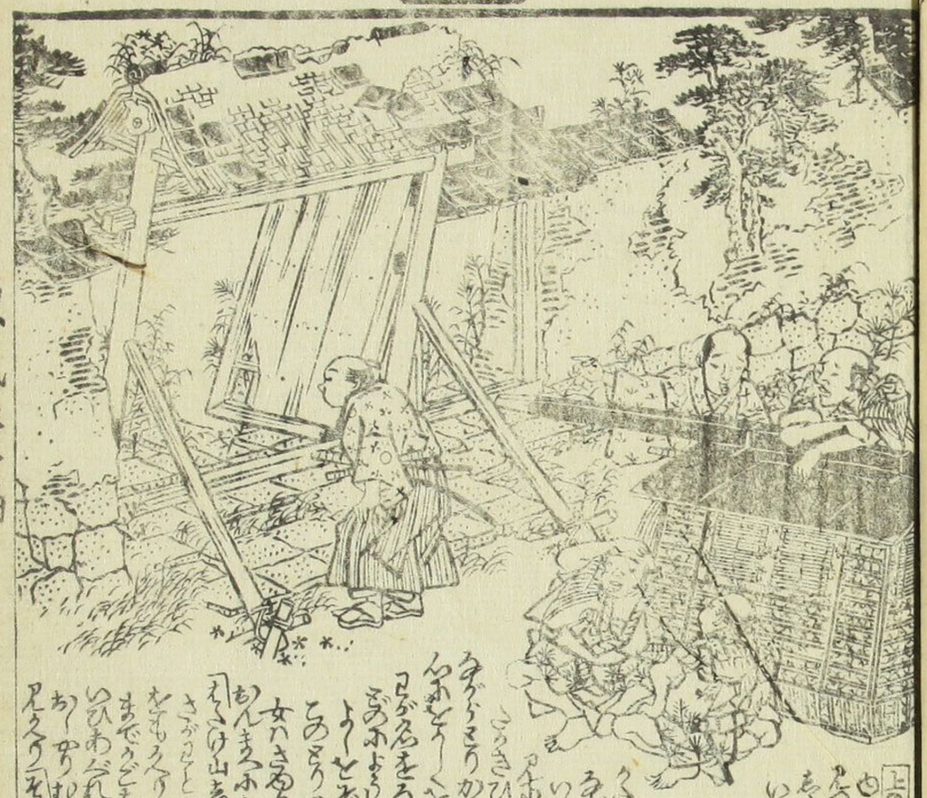
偐紫田舎源氏

種彦作
國貞画

第九二編 下冊

通油町 鶴屋喜右衛門 板





上の巻つゞきあさまそも
やそうるく人のこゝろを
ゆたけーていれてあさま
ちうすーげくろひやうぶを
いそぎひきめぐらーしと
女をとがをつくぐ
うちかくるめ
ありんもあるのらん
くくちろどいあさろく
ろうどうみをめきまのげふ
いやーくぐちんくあの
ろあくーとうひさの
ろうきひめうへとちをを
ゆうろうかくるがようちまーと
ゆふどろーくろさのせいゆん
ヨゲろををのりむーをぎ
ヨゲろををのふよりじあれがあひいを
ようとをのひいをける
このろうつぎよいでる
女いさありゆそありろるゞ
ちんまふちりくう
むさけ山ちばあろの女どう
さがりとーースあのぶちろけ
をそもくりヨをもちげんうん
までろどをのりつけうりくと
いひあがれがいるぶゆハ琴
ちーやりむーどぎのくこを
ゆくうり「そのさがりとしいふ

○ををごれををあ
ミうりちりぎくと
でをれてをとー
をみいで「こよう
どころうつのあいちど
あふこともごろう
まやねがうえさん
きいてありまする
そのさがヨハヨろの
ごきこよーーさまの
ちちーーいをつーとの
ーこやーそれのろの
をろこやよどもがゆ氏
さまをあいのまりくすと
いちどをろりるどありく
ちやとのふどりさこを
ようくんちらねども
るらうことるらあひこも
ござりまやねと
むりをぎがくるをきいて
いるぶひの「そをあ
ゆくをむりきよが
ーどゆてみるハちれさ
ーとうかつふ人ふ
あれもるるを
ようきよんちとづて
山名のまをーりのでハ
るのりをきこハ

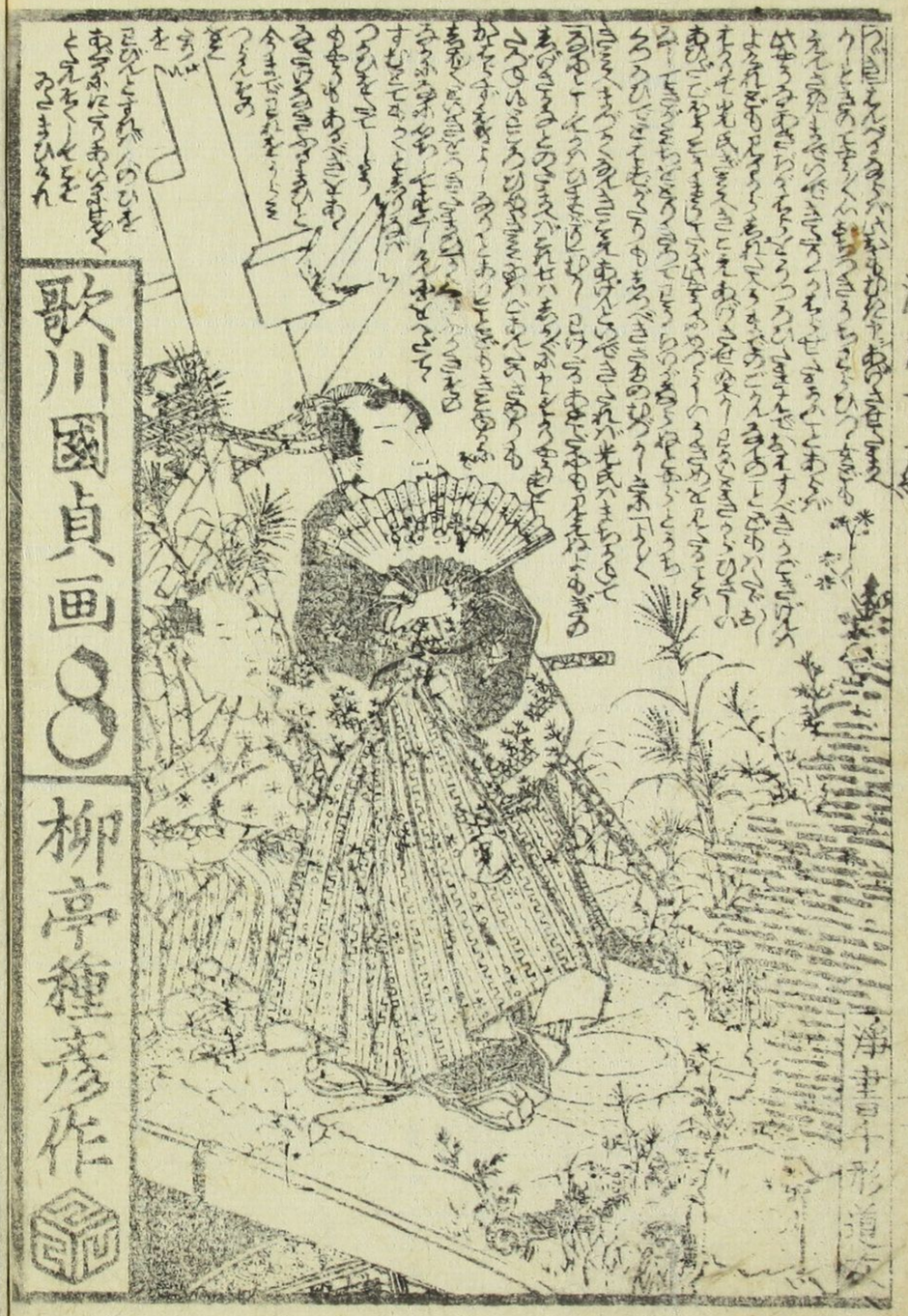
つぎ
右仝
美艶仙女香
黒油美容香
真製杓子の油

源氏十二編

源氏十二編

上冊
八葉ゆ
光氏

京の大小名きのかよう



笠翁新奇十種曲

寛政年間曲亭子の舊作画冊子十種拔萃再板

作者馬琴子校閲新序　　歌川国芳新ふ画く

あの十種の画冊子ハ今より四十年あまりのむかし曲亭翁笠の翁尚ひかり一比の戯作ハ
をを本房ゆ刊行ありけるそゝ中ゆ當時のあら作をえらみ出し翁ゆ校閲新序を
乞て更ゆ画を新ゆ再板したゝ幾年ゝ樹ゆ花ゝ飾りゆ賣物ゆるさまく欲ゆ當
今四十前後ゆ殿原も姫御達も未生以前の舊作ゆ絶て久しく板元ゆ是ゆ
板あるよゆ年のをゆ捐出さゞゆ世ゆあの冊子ゝ入まりゆ四方の君子ゆアせまくむ
とく漫ゆ思ひ起ゆ近來笠翁の新作の稿本ゆ易うゆ求よりて宜や清の笠翁ゆ十
種曲の作ゆ奇あれゆゆも亦笠翁十種作と名つけて和漢両奇才子の滑稽一致の
趣を比喩ゆく梓ゆ壽くゆゆ馴染累ね一二世の板元仙鶴堂ゆ敬てまうさく。

天保

第一種　視藥殿引札　馬琴作　国芳画

第二種　無筆節用似字盡　馬琴作　国芳画

丁酉仙鶴堂再刊十種目録

第三種　鹿想案文當字揃　似字盡の後編なり　作者並ニ画工同前
第四種　花見新虱盛衰記　馬琴作　国芳画
第五種　敵討釜拿眼　虱盛衰記の後編　作者画工同前
第六種　備前播盆一代記　馬琴作　国芳画
第七種　野夫鶯歌曲詞言　馬琴作　国芳画
第八種　春之駒象棋行路　馬琴作　国芳画
第九種　譬之節義理與情鼻禪　馬琴作　国芳画
第十種　六冊懸徳用草紙　馬琴作　国芳画

右一種十六張を三冊の袋入合巻とせり是より毎年三種づゝ再板賣出しなす入御覧後

江戸本町筋通油町書林並地本暦問屋
板元　仙鶴堂　鶴屋喜右衛門

家傳神女湯　製薬問屋　瀧澤氏
精製竜熊丸　日本橋竹川町中ノ橋
熊胆黒丸子　弘所元飯田町中坂下南側甲程　たゞ沢氏

天保八年丁酉初春新彫

偐紫田舎源氏

柳亭種彦作

歌川國貞画

当年北二編より北六編まで閑板おかそらずに笑覧へ猶奉希る

一筋道雪眺望　仙果作　歌川國芳画　全四冊

飛翼連理恋の櫻樹　人作　歌川國芳画　通用亭徳成作　全四冊

森羅万象心意氣　五柳亭徳升作　歌川國芳画　全四冊

歌舞伎姿八重櫻　大平權現　磯助太刀　歌川國芳門裡画　全四冊

琴声女房形氣　山東庵京山作　歌川國貞画　全四冊

小紫　種彦　文書　貞秀　画図　昔咄　火焚だゞア　二冊

茶番のいろは　二冊　昔話　浦島　爺　三冊　昔咄　きちもんとゝく　三冊

黒油美玄香　南伝馬町三丁目西側　坂本氏製　四十八銅
書物錦繪團扇地紙　問屋　江戸通油町　鶴屋喜右衛門